

信と勇と



 藤沢翔陵高等学校

FUJISAWA
SHORYO
HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE
2026





書：小野 陽（書道部）



校訓

「信」とは自分を信じ、周りの人々を信じ、
未来を信じるこころ「まこと・まごころ」を指し、
「勇」は自分と向き合い、自身と他者を受け入れ、
失敗を恐れずに進む「勇気」を意味します。
この「信」と「勇」を並記した校訓「信と勇と」は、生徒の人格形成に向けた道標であり、
過去から未来へと受け継がれ、変わることのない本校教育の基盤です。

信と勇と

S.C.B.L.

SHORYO CHALLENGE-BASED LEARNING
「挑戦」を通じた主体的な学び

教育目標

潜在学力の最大限の開発
「自ら学ぶ力」を育む

生涯にわたって自己の能力と可能性を高め、
他者と協調・協働しながら自己実現と
社会貢献を果たせる人材を育てます。

基本的生活習慣の育成
「自ら律する力」を育む

自らを律し、社会的に自立するための習慣と
主体性を身につけ、変化する社会を生き抜く
能力を身につけます。

自主性と責任感の養成
「自ら考え、判断し、行動する力」を育む

人と社会の多様性を理解し、幅広い知識と
教養に根ざした柔軟な思考で新たな価値を
生み出していく能力を育てます。

人と社会に、自ら働きかけることのできる人材を育てる。

生きる力は、挑戦することで培われる
進学・就職、資格取得、部活動も、
すべては未知への「挑戦」だ
人は挑戦することで力がつく
挑戦には失敗がつきものだが、
失敗を恐れていては真の成長はない

Be a Challenger

自分に、未来に、挑戦しよう
挑戦の中で自分の生き方を見つけよう
高校3年間は挑戦の場だ
挑戦こそが飛躍の原動力となる
藤沢翔陵高等学校は、
一人ひとりの
挑戦を全力でささえていく





FUJISAWA SHORYO
HIGH SCHOOL
PRINCIPAL
Message
学校長 小口 昌哉

昨日のオレ
< 明日のオレ

翔陵高校は今年、創立94周年を迎えました。地元経済界を支える“藤商”から翔陵へ校名変更し、校訓「信と勇と」のもと、教育目標の3本柱を掲げ、学びのスローガンSCBLを合言葉に、男子教育一筋に26,000名を超える卒業生を輩出してきました。なかには翔陵をご信頼いただいて、親子3代・4代にわたる翔陵の卒業生も珍しくありません。

私たちは、保護者の皆様、卒業生や地域の皆様の信頼に応えられる教育活動を推進し、地域社会に根差した存在でありたいと考えています。

人は必ずいい方向に変わることが出来ます。その変化を成長といいます。与えられたことだけを実行して、振り返った時に残るのは後悔でしかありません。なにかに挑戦すれば、例えば失敗しても次につながる経験になります。挑戦を楽しみましょう。それは必ず、あなたを成長させてくれるはずです。今の時代は、いくつになっても常に自分をブラッシュアップしていかなければなりません。

変化する社会に適応できるのは学び続けることの出来る人だけでしょう。翔陵では、その力を、日本語力を養う「まなびのOS」から少人数ゼミ形式の「総合的な探究」や「課題研究」、「自己の探究」や「表現」といった学びの軸となる科目をつうじて養っていき不確実な将来に自信を持って立ち向かえる男子を育てていきます。

いきいきとして高校生活を送る翔陵生とそれを支える教職員の熱意と力量は、私の自慢のひとつです。

ぜひ、一度翔陵に足を運んでいただいて、雰囲気を感じてください。みなさんをお待ちしています。

翔陵は大学付属でもなく、中学校も併設していません。3年間で成長させます。自信の持てる男になろうよ。

School History

1931年 3月 藤沢商業学校開校
1943年 12月 藤沢工業学校に転換
1945年 12月 藤沢商業学校開校
藤沢工業学校より分割復元
1948年 3月 学制改革により藤沢商業高等学校に昇格
4月 藤沢商業高等学校開校
1960年 10月 講堂兼体育館竣工
1962年 12月 体育館を除く全校舎焼失
1963年 3月 第1号館竣工
12月 第2号館竣工
1968年 9月 LL教室新設
1970年 4月 普通科開設
10月 情報処理教室新設

1980年 12月 第3号館竣工
1981年 4月 LL教室と情報処理教室の設備を更新
1984年 7月 図書館・生徒会館竣工
1988年 9月 防音工事・冷暖房工事完了
1990年 4月 パソコンネットワークシステム導入
1991年 3月 60周年記念講堂兼体育館竣工
1992年 4月 普通科特進コース開設
1996年 3月 商業実践室パソコン新機種導入
8月 パソコンネットワークシステム新機種導入
1998年 4月 校名を藤沢翔陵高等学校に改称/5日制になる
1999年 11月 第3号館耐震工事完了
2000年 3月 PC・LL教室パソコン新機種導入(2回目の更新)
2001年 8月 校内LAN敷設

2003年 4月 電算室新機種導入、マルチメディア教室(2教室)新設
2004年 4月 総合グラウンド完成
2008年 8月 校舎外壁改修工事完了
2009年 8月 テニスコート改修
2011年 4月 学校週6日制を順次スタート
2012年 3月 総合グラウンド改修
2019年 6月 第3号館改修(耐震・防音)工事完了
2020年 3月 第1号館改修(耐震・防音)工事完了
12月 第2号館改修(耐震・防音)工事完了
2021年 5月 創立90周年を迎える
2022年 4月 普通科コース名変更



FUJISAWA SHORYO
HIGH SCHOOL
ORIGINAL

探究活動



自分自身の
「好きなこと」「得意なこと」を
見つけて学んでいこう!

まなびのOS

日本語力の向上!



哲学対話

発想力と対話力の向上!



総合的な探究の時間(ゼミ形式)

探究心の向上! 自ら学び続ける力を身につける!



部活動 仲間との団結力を築きあげていく!



自分を信じ、
仲間を信じて夢を掴む!



地域支援 ジャンボタニシ駆除

生徒20人を含む、200人を超える参加者。地元の方と交流も出来ました。



表現12EXPLORING

楽しいことと真剣に、様々な方法で自分を「表現」してみよう

2024年度より【まなびのOS-表現】の授業が3年生を対象について始動! その道のプロの先生方を特別教員として招いて行う翔陵だけの特別な授業。



01 DJ

DJ機材・ソフトを使用して、基礎から応用までを学び、DJを通じて表現の仕方を学びます。



02 落語

伝統芸能の落語を通して日常生活会話、失敗談までも、笑いに変え、人を惹きつける話術を学びます。



03 陶芸

陶芸を通して、自分のイメージを形にして表現する事で自分自身に向き合い、自分の可能性を知ってゆきます。



04 映像

映像制作の撮影・編集方法を学び、実際に映像作りを体験し、表現することの楽しさや自由を探究していきます。



05 写真

写真で表現することの楽しさを中心に、構図や光の当て方など基本的なことを学びます。



06 新聞

新聞記者さんの教えのもと、翔陵高校の新聞を作り、学校で実際に起きた「出来事」「真実」を、わかりやすく伝える探究をします。



07 ダンス

ダンスを通じて、リズム感を鍛えると共に、自分と向き合うことや、仲間との目標を成し遂げる感動や喜びを、体感しましょう。



08 藍染

藍という植物を通して、衣食住、芸術への大いなる表現を学びます。



09 言葉

文章を読んだり、物語を読んだりしながら伝えたいことがしっかり伝わる「話す時の表現力」を身につけていきます。



10 店舗空間コーディネート

ワクワクする「表現」のひとつの手段が「ディスプレイ」つまり、空間コーディネートです! 楽しく学び創作してみましょう。



11 デザイン

「自分を表現する」ことを通じて、自分とは何か? 何をして生きていくのか? という大きなテーマに迫りながら、「自分らしい作品」を生み出す。



12 美術

自由な油絵制作、様々な日用品などの材料を通した実験制作を経て作品を作っていきます。

MESSAGE from STUDENTS



Hinata Komuro
小 室 陽 大
3 年 生 / サッカー部

文理融合探究コースは、文系・理系の枠を越え幅広い知識を身につけることができるコースです。得意分野探究コースとは違い、3年間を通して文系分野と理系分野の両方を学ぶことによって、高校卒業後の幅広い進路選択を可能にしています。

また、本コースでは従来の6時間授業に加えて、7時間目に講習を取り入れています。7時間目の講習では基本的に英語技能検定の対策を行っており、この講習を毎週3時間取り入れることで、学業と並行して資格を取得することを目指しています。このようなカリキュラムを3年間継続して取り組むことで、卒業するまでに英語技能検定2級の取得を目標にしています。

部活動では3年間、サッカー部に在籍し、3年次にはキャプテンとしてチームを牽引してきました。運動部に所属しながらも、学業に力を注ぎ、安定した成績を維持することができました。

また、1年次から探究学習に取り組むことで、多角的な視点で物事を分析し他にも、年に一度「探究発表会」で発表することによって、総合型選抜等で必要になるプレゼン力を養うことができます。

さらに、3年間の探究活動を通して、自らの進路選択の幅を広げるきっかけが得ることができました。私は3年間探究活動をすることで、多角的な視点から物事を考える力を身につけることが出来ました。これにより、普段趣味でやっているゲームからヒントを得て、CG制作に関わる職業につきたいと強く思うきっかけを見つけることができました。

MESSAGE from TEACHERS

本コースは、文系と理系の枠を超え、総合的な「知」の育成を目指します。両分野の授業を通して、多角的な視点と深い洞察力を養います。

社会に目を向け、視野を広げることで、「自分に何ができるのか」「何をしたいのか」を深く考察し、将来に向けて必要なスキルを身につけます。

そして、上記のスキルを獲得するために文理融合コースでは、様々な企画を実施してきました。勉強合宿、放課後や長期休み講習、探究合宿、探究フィールドワーク調査、地域ボランティアへの参加など、必須ではありませんが、多くの機会を提供してきました。

単に知識を習得するだけでなく、その「知」を現実社会で活かす力が重要です。探究活動でのフィールド調査や積極的なボランティア活動への参加を通じて、社会で起きている課題への関心を深め、その解決策を自ら考え、行動する力を育みます。

課題設定、調査・知識の習得、そして表現といった能力はいつの時代も、どんな職業においても不可欠なスキルです。本コースは、これらのスキルを実践的に学び、磨き上げていく場となります。

*Keisuke Oka*岡 恵 介
英語科教諭 / 放送部顧問

BE A CHALLENGER



Interdisciplinary Learning

普通科
文理融合
探究コース文理の枠を
越えて学ぶ
探究から
進路選択へ

1 年 生

- 探究活動に向けたベース学習
- 探究基礎 (哲学対話・探究概論)
- 情報 (プログラミング)
- 理数探究基礎
- まなびの OS I

2 年 生

- テーマ設定探究活動開始
- 探究テーマを決定
→ 学際的な探究
- 探究活動 (ゼミ形式)
→ 中間発表
- まなびの OS II

3 年 生

- 探究成果のプレゼンテーション
- 探究活動 (ゼミ形式)
→ 学際的な探究
- 探究発表
- 自己の探究、表現

世界を視野に広く横断的に学ぶ

教科や科目といった学問の体系にとらわれることなく、大学や企業など外部機関と協働しながら、社会や地球規模の課題と向き合い、その解決策を探る。文理の枠を越え、横断的で実践的な「知」の育成を目指す「文理融合探究コース」です。

1年次には探究学習の土台を養成し、2年次では社会や世界が抱える課題を多角的に調査・分析する探究活動を行います。3年次には各自の探究テーマを論文にまとめ、プレゼンテーションを行います。

こうした自律的で探究的な学びを通じて

「思考力・判断力・表現力」

を養成し、大学進学から海外留学まで幅広い進路の実現をめざします。

教科や科目にとらわれない横断的な知性を生む！



↑ 大阪・関西万博 Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan

自分が興味を持ち
探究してきたことを
みんなに発表！

MESSAGE from STUDENTS



Sowa Sato
佐藤 空和
3年生 / 科学部

私は小さい頃から生き物が好きで、高校ではその興味をさらに深めたいと思い、生物に関する活動ができる科学部に入りました。入部してからは、自分のやりたいことだけでなく、新たに挑戦してみたいことも見つけ、顧問の先生や先輩、仲間たちと研究を重ねました。そして横浜薬科大学の理科系研究発表会で『乳酸菌の繁殖能力の強弱と人体への影響関連』についてプレゼンテーションしたところ、生体防御学賞をいただくことができました。

このように、現在の私は人前で話したり、発表することができていますが、中学生までの私は違いました。自信がなく、いつも周囲と自分を比べてしまい、「自分は何をやってもダメだ」と思い込んでいました。やりたいこともうまくできず、高校生活に対しても大きな不安を感じていました。でも今は、クラスメイトや先生方の支えのおかげで少しずつ自信を持てるようになり、授業で自分の意見を発言したり、学校行事を通じてチームワークやコミュニケーション力を高めたりと、自分自身の成長を実感できるようになりました。

また、学校生活以外にも、ボランティア活動などさまざまな経験を通して自分の「好き」や「やりたい」を本気で追いかけることができているので、日々充実した時間を過ごしています。

MESSAGE from TEACHERS



Takumi Takahashi
高橋 拓海
数学科教諭 / ラグビー部 顧問

得意分野探究コースでは、自分の「好き」や興味をとことん追求できるカリキュラムを用意しています。1年次にはクラス単位で探究の基礎を学び、2年次からは少人数のゼミ形式で、それぞれのテーマに取り組めます。

生徒の中には趣味を深掘りする人もいれば、将来の進路に向けて専門的なテーマに挑戦する人もおり、一人ひとりが自分のペースで探究活動を進めています。

私は本校に赴任して3年目になりますが、自身の「好き」であるラグビーを通じて、生徒と一緒に探究できたらと思い、今年度ラグビー部を立ち上げました。教員もまた、自分の「好き」を大切に、生徒と共に成長する姿勢を大事にしています。

「好きなこと」に真剣に向き合えるこの環境で、あなたも自分の可能性を広げてみませんか？
応援してくれる先生や仲間とともに、あなたの「好き」を探究していきましょう！

BE A CHALLENGER



Specialized Learning
— “ 普通科 得意分野 探究コース ” —

「好き」と「得意」に本気で取り組む3年間

誰もが持つ「好きなこと」、「得意なこと」を学びの基点として、3年間の探究活動を通じて自己の生き方へとつなげていくのが得意分野探究コースです。

1年生では探究学習の土台となる「探究基礎」を学び、2年生からは特性に応じて「人文社会科学専攻」「自然科学専攻」に分かれ、各自が設定した探究テーマにアプローチします。中間発表を経て、3年生ではそれぞれの探究テーマに沿って論文を作成し、最終的には全員がプレゼンテーションを行います。

本コースでは、知的好奇心に根ざした3年間の探究活動を、進学や留学、就職などあらゆる進路（生き方）へとつなげていきます。

得意分野を
活かした
3年間の
探究活動

1年生	2年生	3年生
● 中学校までの学びの復習 ● 探究基礎（哲学対話・探究概論） ● 情報（プログラミング） ● 論理、思考力を養い、聴き方・話し方を学習 ● まなびのOS I	● 探究テーマを決定 ● 探究活動（ゼミ形式）→ 中間発表 ● まなびのOS II	● 探究活動（ゼミ形式） ● 探究発表 ● 自己の探究、表現





商業科

Commercial Learning

実社会で通用する 知性とスキルを養う

商業科では、高校入学時に全員が同じスタート地点に立ち、商業科目を中心に3年間で実践的なビジネススキルを身につけていきます。すべての学習の土台となる日本語力(まなびのOS)を磨きながら、2年生からは「会計コース」「情報コース」「総合コース」に分かれ、各自の興味に応じて専門的な学習に取り組みます。3年生では、ビジネス分野の調査・研究、販売実習などの探究活動を通じて専門的な知識とスキルを身につけ、資格取得をめざします。他者との協働を通じて社会で通用するコミュニケーション能力を養いながら、ビジネスの世界で社会貢献できる人材を育成します。

各種検定合格への 完全サポート!

達成感を積み重ねる集中力と応用力を磨き
1年生では
「電卓検定」「情報処理検定」「簿記検定」
3級の合格をめざします。
2年生以降は「電卓検定」「情報処理検定」
「簿記検定」の2級以上、「ビジネス文書検定」
「商業経済検定」合格をめざし、国家資格の
「ITパスポート」取得も目標としています。
通常授業だけでなく、放課後も利用しながら
検定合格や資格取得をめざします。

達成感を
積み重ねながら、
ビジネススキルを
身につける。

1年生

- 中学校までの学びの復習
- ビジネス分野の基礎
- 会計の基礎
- 情報処理 (ICT) の基礎

2年生

- 会計コース▶財務会計、原価計算を中心とした専門的な学び
- 情報コース▶アプリケーションの活用やプログラミング
- 総合コース▶ビジネス全般についての学び

3年生

ビジネススキルを身につける専門的なカリキュラム

会計コース

株式会社会計や
原価計算など

まなびのOS・課題研究

(日本語力・翔陵商店)

情報コース

プログラミングやビジネス情報

総合コース

ビジネス全般を幅広く学ぶ



Haruto Yumizashi

弓指 悠

3年生 / 簿記・計算研究部

私は高校では普通科目以外にも違う事を学びたいと思い、藤沢翔陵高校の商業科に入学しました。1年生で学ぶ会計や情報等の商業科目は、ともに初めて学ぶ科目だったので、とても新鮮でした。授業は初歩的な部分から詳しく行われるため、しっかりと理解することができました。商業科では「資格取得」が授業の明確な目標になっているので、授業にも前向きに取り組めました。1年生では検定の3級に合格したら終わりではなく、2級にもチャレンジしました。私は会計コースに進み、現在も簿記検定1級や電卓、商業経済検定1級取得を目指し頑張っています。また、検定試験日の一週間前から検定についての講習が行われます。講習では、検定に出題されやすい部分を重点的に学び、過去の問題を何度も解くことで、試験に備えました。

また商業科では、販売実習を行っています。販売実習では商品の選定や注文・発注、業者との折衝、販売価格の設定、売り場のロケーションなど、全てを私たち生徒が協力し合いながら行っています。更に地域のお祭りからボランティアまで幅広い形で販売実習に取り組んでいます。その中でも私の中で一番印象的だったのは能登半島の復興支援を目的として商品を販売し、その全額を寄付するというものでした。

ここでは、被災経験のある地域、能登の高校、神奈川の高校で販売したのですが、商業高校の団結力というものを見る事が出来ました。このように3年間で様々な専門分野に触れ、いろいろな経験を積む事が出来るのが商業科の特徴だと思います。

卒業後も、藤沢翔陵高校の商業科で学んだ事を活かし、目標に向けて努力していきたいです。



Rentaro Nishinobo

西ノ坊 廉太郎

商業科教諭 / 野球部 顧問

中学校では学ぶことのなかった「ビジネス」の世界を学べるのが商業科です。お金・モノ・情報がどのように動いて、「利益」を生むのか、深く学習することができます。スタートラインが全員一緒なので、協力して知識を得ることができる環境です。定期的に行われる検定試験では、「合格」という目標をもつことで、小さな努力の積み重ねが自然とできるようになります。

この繰り返しで、大きな成果へとつながります。高校3年間で商業科で学び、他では経験できないことを身につけることによって、それもまた、大きな自信になります。チャレンジは何回でもできます。

沢山、挑戦できるのが商業科です!



翔陵商店

学びを实践し、未来のビジネスを創る! 「学び」→「資格」→「実践」→「創造」

翔陵商店は、商業科の生徒がリアルなビジネスを体験し、社会に貢献する企業づくりを学ぶ実践型プログラム。

商業の知識や技術を学び、資格を取得し、それを翔陵商店で実践。

商談・商品開発・価格設定・販売のすべてを経験しながら、地域とつながり、未来に活かせるスキルを磨きます!



翔陵商店で学べること

- 商業の知識・技術を学び、資格を取得し、実践で活かす!
- 商品を売るだけでなく、事業としての視点を学ぶ!
- 地域や社会の課題をビジネスで解決する力を養う!
- 将来に活かせる「起業力」と「発信力」を身につける!



翔陵商店が目指すもの

- ✓ 商業の知識と資格を武器に、実際のビジネスを動かす!
- ✓ 地域や社会に貢献し、役立つビジネスを創る!
- ✓ 生きるために必要な「思考力・判断力・表現力」を鍛える!
- ✓ 世界に通じる接客・発信・コミュニケーション能力を磨く!



1. 実践的な学びができる
地元企業とのコラボレーション

2. 社会貢献ができる
能登応援など地域イベントへの参加

3. キャリアの選択肢が広がる
起業を目指す生徒にも最適





500kmの自転車の旅

～神奈川県藤沢市から山形県小国町まで～

1. 自転車の旅をしようと思った理由

自転車で小学生の頃から、色々なところへ行っていた。小学校6年生の時には東京の祖母の家に行ったことがある。また、中学生になったら行動範囲が広がり、箱根も自転車で行くようになった。東京の祖母の家までは約70km、箱根は山の上の神社までが50kmである。

今回、山形の祖母の家まで自転車で一人旅をすることで、自転車の旅の集大成にしようと思い、約500kmの旅を計画した。

2. 準備

自転車の横につけるバッグやライトなど、装備にお金をかけた。旅費は3万円くらいだったが、初期装備には8万円かけた。自転車に付けるバッグ、タイヤ、バッテリー、性能の良いライト、この4点が一番お金がかかった。

持ち物は、雨具やキャンプが出来る山セット、修理出来る工具類、モバイルバッテリー、衣類など。お金は現金ではなく電子マネーで準備した。現金の場合紛失する恐れがあるからだ。

3. 宿泊

1日目は東京の祖母の家に宿泊し、2日目は宇都宮と郡山の間にテントを張ってキャンプをした。当日、キャンプをしてもいい場所を探し、どこで泊まるかは、その日に決めていた。3日目は日光の辺りでキャンプをし、4日目は福島のホテルに泊まった。いい感じの場所にキャンプ場がなかったからホテルに泊まったのだが、ホテルは快適だった。キャンプには慣れているけれど、ホテルの方が断然快適だ。ベッドで眠れるところがいい。キャンプをしていたときは、寝袋だと暑いので、マットだけ敷いて寝ていた。5日目はゴールの山形の祖母の家に宿泊した。キャンプは暑かったけれど、夜は涼しかったし、北の方に行くにしたがって暑さも薄らいだ。



4. 大変だったこと

荷物が重かったことが一番大変だった。最初の荷物は15kgくらいあった。荷物が重いと、自転車が進まない。結局、3日目に軽量化のため、使わない衣類や靴などを、家に宅配便で送った。荷物が少なくなるととても楽になった。また、夏に行ったので暑すぎた。飲み物はコンビニで買いつつ進んだ。国道を進んで行ったので、コンビニがなくて困ることはなかった。

バンクは覚悟していたが、大船で最初にバンクしたのは「早すぎる」と思った。しかしバンクにも準備していたので、バンクを直して走行することが出来た。バンクは全部で2回した。

5. 道中の想い出

雨具も準備して行ったが、ずっと晴れていたのでもよかった。景色がきれいで、田舎の田んぼしかないような道が印象に残っている。

スマホのグーグルマップを見ながら行ったのだけれど、マップを見ないで進んで迷ったこともあった。しかし、グーグルマップがあったので正しい道を見つけることが出来た。地図しかない時代だったら、大変だったと思う。

食事は、朝はだいたいコンビニでおにぎり等を食べ、昼はお店に入ったりコンビニで買ったものを食べたりした。夜はキャンプでカップラーメンを食べていた。ところで、日本一大きいというコンビニにも立ち寄ったが、さほど大きいとは思わなかった。

宇都宮では餃子を食べた。親戚の人がおいしい餃子のお店を教えたので、そこに行ったのである。人との出会いが楽しい旅でもあった。途中寄ったコンビニで、同じように自転車で旅している人とおしゃべりしたりして、どこに行くのか聞いたりするなど、そういうやりとりが楽しいと思った。福島では大学生と出会い、楽しいひと時を過ごした。夜ごはんを食べようとしたとき、福島の大学に通う人と出会い、一緒にごはんを食べに行ったのだ。自転車で旅をしていることを告げると面白がられ、話が弾んだ。

6. 最後に

山形の祖母の家では、疲れていたのでもっと寝て過ごした。しかし、自転車の旅で、久しぶりに2組の祖父母に会えてよかった。箱根に自転車で出ていたので、山形への道のりは平坦だったため、さほど大変ではなかった。

道中、家族に頻りに連絡をするということもないまま過ごした。家族には信頼されていると思う。そもそも、山形への自転車の一人旅を高校1年生で許してくれた両親に感謝したい。普通は行かせてくれないのではないだろうか。行かせてくれてありがとうと思った。

この旅を通して、一人で行動出来る強さを得た。判断力行動力も身についたのではないだろうか。500kmの、神奈川県藤沢市から山形県小国町までの旅。きっと一生忘れられない思い出となると思う。

“藤沢翔陵”で得たこと
“探究”について

Reita Moriya

守谷 玲太さん

職業/監理師(あいさい)
2001年(平成13年度)卒業



2022年
・FUJISAWA BLUE HANDS PROJECTを立ち上げる
・BLUE HANDS PROJECTを札幌、群馬県伊勢崎、和歌山海南、伊勢原に展開
・FUJISAWA CITY の新築めしやがローソングで販売開始
・板の芸術作品が積水ハウスのモデルルームに採用
・三共自動車学校と藤沢市の協定に関わり障がい者雇用に向けたメディア露出
・代官山馬場にて藍のプロモーション
・ユニバーバとプロダクト開発やイベント企画でタイアップ
・北海道江別市の馬場に BLUE HANDS PROJECT 札幌出店
・無印良品と芸術作品展示とイベント企画でタイアップ
・阿夫利神社に歴史上はじめてアート作品が奉納・手紙国際デーに藍の企画と協賛で参画
・海外留学生40名と国際教育プログラムを実施
・横浜の小学校にて総合学習の年間プログラムを担当
・ノースフェイス・ヘリマンセン テラスモール湘南店とイベント企画にてタイアップ
・JP モルガンアセットマネジメントで講演
2023年
・世界ベストレストラン1位を5回取得したnoma の調理道具に藍左官彫刻の彫刻削り器が採用
・高級浴槽ブランド「Artis」にコブボレーション 藍の浴槽が販売開始
・ノースフェイスオルターとイベント企画でタイアップ
・日本大学馬術部の新機軸にて藍のアートウォール制作
2025年
・横浜 DeNA ベイスターズ「YOKOHAMA STAR+ NIGHT」ユニフォーム

翔陵で学んだこと

オーラルコミュニケーションというネイティブ教師の授業のおかげで英語や英語圏の文化に興味を持った。

卒業してから“経験”“探究”してきたこと

世界中でサーフィンを通して自然を感じ、文化を学びました。

守谷さんにとって『好き、得意なこと』を『探究』するとはどのようなことでしょうか？

はじめは自己満足。その大好きな自己満足を継続するために社会貢献へ導いたり公益的なものにしていく。そうする事で協力してくれる仲間が増え、自分だけでは成し得ない更なる探究へと進めて行く事ができると思う。



探究し続ける精神がどのように
培われたか、ベースにはどのような
バックボーンがあるのか？

高校在学中に探して当てたアメリカの祖父の事が大きい。私の父親は横須賀 NAVYだった祖父と2歳の頃に生き別れになっていて、その祖父を高校3年の時に見つけ卒業直後に父親を連れて渡米し、感動の再会を果たしました。当時SNSなど無かったため、相当な努力と奇跡が必要でした。【諦めない＝探究する】ことでも何千回も結果は必ずだと学びました。その事が強く影響しているように思います。在校時代のオーラルコミュニケーションで英語やアメリカ文化への興味が更に高まり、ついにはアメリカの祖父との出会いへ繋がったんだと思います。



翔陵 志塾

—「進路希望の実現」のために—

“学ぶ力”と“生活する力”を身に付ける

今や入学者の半数を総合型選抜と学校推薦型選抜で募集する大学も少なくありません。高校での教科学習はもちろんのこと、大学で学ぶための“志(こころざし)”を高めることがこれらの選抜に合格するために求められます。

そして、合格するためだけではなく大学に入学後も高い志を持って学び続けるために。大学は勉強するところ。だからしっかり勉強して大学に行く



【山岳部】

総合型選抜と学校推薦型選抜で大学入試をする生徒は【全員】大学進学対策講座《翔陵志塾》に入塾します。

2年生11月から3年生の9月まで毎週実施される「土曜講座」、春休み中の「春期スペシャル講座」、

そして勝負を賭ける「夏期スペシャル講座」で、しっかり自分に向き合い“学ぶ力”と“生活する力”を養います。

キーワードは「なぜその学問を志したのか」「大学で何を学ぶのか」「将来何をしたいのか」「どうしてその大学で学ぶのか」です。

求めるのはハイブランドじゃない、なりたい自分になるためのマイブランドです。

大学での学びを知る

- ・学問分野研究
- ・大学の模擬講義を体験
- ・適性診断を受検し資料請求
- ・専門学校と大学を比較してみよう
- ・街なかに学びのヒントを見つけよう

大学合格に近づく

- ・オープンキャンパスの心得
- ・高大連携大学によるオープンキャンパス講義
- ・志望理由書の添削
- ・英語基礎力の養成
- ・校外の進路イベントに参加

大学入学後も活かす

- ・基礎学力診断テスト
- ・TOEIC Bridge L&R
- ・小論文学習会
- ・教員による口頭試問
- ・志望大学研究レポート作成



※上記は、2024年度実施の内容です。

“生活する力”って何ですか？

「進路希望の実現」とは、“進路”のために、何か特別なことをするわけじゃない。

毎日の“生活”を丁寧に積み重ねたその先に、当然の結果がやってくるだけ。

時間や体調をしっかり管理する。提出物は余裕を持って取り組みクオリティにこだわる。

字を丁寧に書く。言葉遣いをちゃんとする。身だしなみを整える…すべては自分のために

進路アドバイザー検定マスター 合格認定 / 進路指導部 谷口 天祥



“Global Achievement”
米大学留学生 富田 真弘 投手

GLOBAL & LOCAL

グローバルとローカル、多様な価値観を探究する

国際交流・台湾研修
多摩大学 高大連携プログラム

「ふじさわ産業フェスタ」など
地域イベントへの参加

Challenge CUP 藤沢地区2位(サーフィン)
tomorrow CUP 鴨川地区1位(サーフィン)



野球部出身、卒業生の富田 真弘投手
サウスウエスタン・オレゴン・コミュニティ
大学(オレゴン州クーズベイ)がリーグ
戦開幕投手で勝利しました！



多摩大学の先生方、学生の
みなさんの5泊6日の海外研修に
ご一緒しました。



藤沢市のさまざまな催しに毎年屋台を出店し、地域
の方々との交流を深めています。生徒たちがボラン
ティアスタッフとして参加し、地元企業と連携しながら、
地域貢献を通じたキャリア教育を実践しています。



針生 佑太 3年生/商業科
「海外で戦えるサーファーになりたい。」と目標を掲げて
いる針生さんは、国内のサーフィンの大会に出場し、
学校外でも自己探究を続けている。



資格取得

“ 資格取得も全力でサポート！
検定・資格取得は、
未来への
アドバンテージ！ ”



英語検定

文 得 商

英語力は世界に羽ばたくためのパスポート！

卒業までに実用英語検定準2級取得を目標にしています。最終的には大学入学共通テストや私大一般入試受験にまでつなげ、希望者は国連公用語英語検定（国連英検）にもチャレンジすることができます。本校では、これらの検定すべてを団体受験実施校として学校で受験できます。

スコア型英語検定

文 得 商

社会で通用するコミュニケーション能力を重視

3種類のスコア型英語検定を校内で受験できます。TOEICの初級者向けテストTOEIC Bridge[®]、英語圏の大学へ留学する際に受験するTOEFLの高校生向けテストTOEFL Junior、全国で100万人の高校生が受験し全国の大学で入試優遇制度に採用されているGTECです。英語でコミュニケーションできることは将来必ず必要とされる能力です。

漢字検定

文 得 商

大学入試や就職にも優遇・評価

大学入試時に優遇してくれる学校もあります。本校は現在、準会場校になっていて毎回多くの生徒が受験し、漢字に対する意欲を高めています。「読み・書き」にとどまらず、幅広い知識を身につけていきます。

情報処理検定

商

IT時代の今、時代が求める資格

情報処理検定は、コンピュータを利用する上で必要な知識を問う「ビジネス情報部門」とプログラムなどの論理的思考力を問う「プログラミング部門」があります。プログラミングでは、実習でアプリケーション開発を行い、大学の情報学部への近道にもなります。

簿記検定

商

目標は在学中の日商・全商・全経の簿記検定合格

企業のモノや金の流れを計算・整理・記録するのが簿記です。簿記から企業の資金面の強さがわかります。専修・拓殖・帝京など簿記で一般受験できる大学があります。もちろん簿記で大学入学共通テストも受験できます。簿記検定合格者は推薦入試でも優遇され、一般入試でも多数合格者を輩出しています。特に日商1級・全経上級の合格は税理士・公認会計士の基礎資格となっています。

商業経済検定

商

世の中の仕組みは「経済」で分かる

ビジネスの中で、商品売買を中心に関係するさまざまな業務をビジネス基礎で学び、どうやって商品を買ってもらうかさまざまな手法を学ぶ2級マーケティング、企業と法律（民法）の関わりを学ぶ2級ビジネス法規、ビジネスにおけるマネジメントに必要な資質や能力を身に付ける2級ビジネス・マネジメントがあります。2級科目に2科目以上合格すると1級合格になります。

ビジネス計算実務検定

商

目標は全商が主催する1級の合格

計算能力の向上を通して、集中力や取引を理解する力も培っていきます。本校では電卓の正しい使い方から丁寧に指導します。授業中は、電卓をたたき音が廊下にも聞こえてくるほど集中し、検定試験前にはさらに集中度UP！1級合格者はさらに上の段位合格に向けてチャレンジし、電卓大会に参加する生徒もいます。

ビジネス文書実務検定

商

ビジネスマンに求められるビジネス文書作成

ビジネスの場においては、自分の意志を文書で的確に伝えることが求められます。そのためにわかりやすく見やすい文書を速く正確に作成する必要があります。パソコンの多彩な機能を学び、検定試験に挑戦することでさまざまな知識と技術を身につけることができます。検定試験では速度、文書作成の実技試験と、筆記試験が行われます。

進路実績

進学から就職まで、多種多様な進路をサポート



2024年度 / 大学合格実績

国立大学	神奈川工科大学	湘南工科大学	中央大学	東京電機大学	文教大学	短期大学
滋賀大学	関東学院大学	松蔭大学	帝京大学	東京都市大学	武蔵野大学	湘北短期大学
	桐蔭横浜大学	淑徳大学	帝京平成大学	東京福祉大学	明星大学	
私立大学	國學院大學	専修大学	田園調布学園大学	東京未来大学	山梨学院大学	
青山学院大学	国士舘大学	創価大学	東海大学	東洋学園大学	横浜商科大学	
麻布大学	駒澤大学	大正大学	東京医療保健大学	日本経済大学	横浜美術大学	
亜細亜大学	産業能率大学	高千穂大学	東京工科大学	日本体育大学	和光大学	
桜美林大学	城西国際大学	拓殖大学	東京工芸大学	日本大学	ZEN大学	
神奈川大学	湘南医療大学	多摩大学	東京国際大学	日本大学通信教育部		

2024年度 / 専門学校他実績

アルファ医療福祉専門学校 エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校 東京ヒューマンアカデミー横浜校 大原法律公務員専門学校横浜校 大原簿記医療秘書公務員専門学校町田校 大原簿記情報ビジネス専門学校横浜校 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 情報科学専門学校 湘央生命科学技術専門学校 専門学校東京テクニカルカレッジ 東京CPA会計学院 東京デザイナー・アカデミー 東京デザイン専門学校	東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校 東京工科自動車大学校品川校 東京町田情報ITクリエイター専門学校 日本工学院専門学校 日本航空大学校石川 日本航空大学校北海道 藤沢市立看護専門学校 武蔵野調理師専門学校 文化服装学院 横浜YMCAスポーツ専門学校 横浜市医師会聖灯看護専門学校 横浜高等教育専門学校 横浜公務員&IT会計専門学校	横浜情報ITクリエイター専門学校 横浜実践看護専門学校 横浜デジタルアーツ専門学校 横浜リゾート＆スポーツ専門学校 横浜リハビリテーション専門学校
--	--	---

就職先一覧（過去5年間）

スーパー・量販店	自動車・自動車部品・製造販売	交通・運輸・ルートサービス・倉庫
やまか	アイエー アイシンシロキ いすゞ自動車 栄和産業 湘南ユニテック 東京ラヂエーター製造	東邦精機 トビー工業 日産工機 日本トラック プレス工業 アート引越センター イワセ・エスタ東京 神奈川中央交通 ギオン 鴻池運輸 サンヨーエアサービス JR東日本ステーションサービス 東海旅客鉄道新幹線鉄道事業本部 日本郵便 ユーニックス
食品製造・販売・飲食店	製造諸工業・建設・印刷	公務・公益・準公務・その他
かねさか 数島製パン 宝製菓 豊島屋製菓 日本レストランシステム 不二家 山崎製パン	エアウォーター・パフォーマンスケミカル Qulead ジャパン・マリン・ユナイテッド ラックランド JX金属 JX金属コイルセンター 東京濾器 東洋紙業 トッパンパッケージプロダクツ 日電工業	日本クロージャー 日本発条 ハシックス 不動マネジメント ミネベアミツミ ミツミ電機 ミヤザワ 読売プリントメディア リコーインダストリー 神奈川県警察 東京警視庁 全日検横浜支部 防衛省自衛隊(陸・海　曹候補生・一般候補生)
情報・電子・電気機器製造・販売	医療・介護・薬品・化粧品・理美容	
アテネ エムイーエス メイコー テクモ TOPPANエッジITソリューションズ 矢口電気	グリーンライフ湘南リアメゾン戸塚	

Be a Challenger!



Culture Club

・英語部	・吹奏楽部
・科学部	・地歴・交通研究部
・軽音楽部	・美術部
・写真部	・文芸・新聞部
・将棋部	・放送部
・書道部	・簿記・計算研究部
・情報ビジネス部	・漫画研究同好会



Sports Club

- | | | | | | |
|----------|------|--------------|-------|------------|----------|
| ・応援団部 | ・剣道部 | ・サッカー部 | ・山岳部 | ・柔道部 | ・少林寺拳法部 |
| ・ソフトテニス部 | ・体操部 | ・卓球部 | ・テニス部 | ・バスケットボール部 | ・バドミントン部 |
| ・バレーボール部 | ・野球部 | ・陸上競技部 (長距離) | ・ダンス部 | ・ラグビー部 | |



Shoryo Keeps on *Smiling!*



2025 ANNUAL SCHEDULE

藤沢翔陵の年間行事
仲間との絆を深める多彩なイベント



05

・スポーツ大会
・開校記念日 / 13日

07

・全校野球応援

09

・学園合同慰霊祭
・全校バレーボール大会
・進学説明会 / 20日・27日

11

・生徒会長選挙
・進学説明会 1日・8日・15日
・学校説明会 1・8・15・22・29日

01

・推薦入試

03

・卒業式
・修学旅行(2年生・沖縄)
・新入生オリエンテーション

04

・入学式
・オリエンテーション
・対面式
・各部紹介

06

・陸上競技大会
・芸術鑑賞

08

・オープンスクール / 23日・24日
・夏期講習
・各部活動合宿
・文理融合探究合宿

10

・校外学習
・進学説明会 / 4日・18日
・学校説明会 / 11日
・翔陵祭 / 25日・26日

12

・学校説明会 / 6日
・探究発表会
・冬期講習

02

・一般入試
・オープン入試

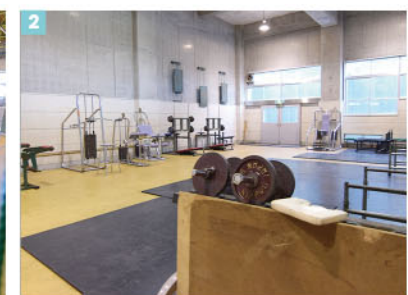




SCHOOL FACILITIES

藤沢翔陵の充実した日々をささえる先進の施設・設備

- 緑豊かな丘にあり富士山と江の島を望む好環境
- 全教室・図書館・多目的ホール・カフェテリアにエアコン完備
- 100台のコンピュータで情報化社会に対応
- 県下に誇る広いアリーナは、体育に部活に休み時間に大活躍の場所
- 毎週、毎月多くの新刊が入る蔵書20,000冊超の図書館
- 視聴覚設備のそろった多目的ホール
- 豊富なメニューのカフェテリア
- 野球・サッカー・テニスに利用できる総合グラウンド



1 アリーナ 2 トレーニング室 3 体操室 4 格技場 5 柔道場 6 バドミントン室 7 卓球室 8 多目的ホール

FUJISAWA SHORYO HIGH SCHOOL EVENT SCHEDULE

予約必須

進学説明会

- 第1回 9月20日 土
- 第2回 9月27日 土
- 第3回 10月4日 土
- 第4回 10月18日 土
- 第5回 11月1日 土
- 第6回 11月8日 土
- 第7回 11月15日 土

開始時間は本校HPをご参照ください。

お申し込みはホームページからお願いします。

2025 文化祭

翔陵祭

- 10月25日 土 12:00 - 16:00
- 10月26日 日 9:00 - 15:00

予約必須

学校説明会・個別相談会

- 第1回 10月11日 土 10:00
- 第2回 11月1日 土 14:00
- 第3回 11月8日 土 14:00
- 第4回 11月15日 土 14:00
- 第5回 11月22日 土 14:00
- 第6回 11月29日 土 14:00
- 第7回 12月6日 土 14:00

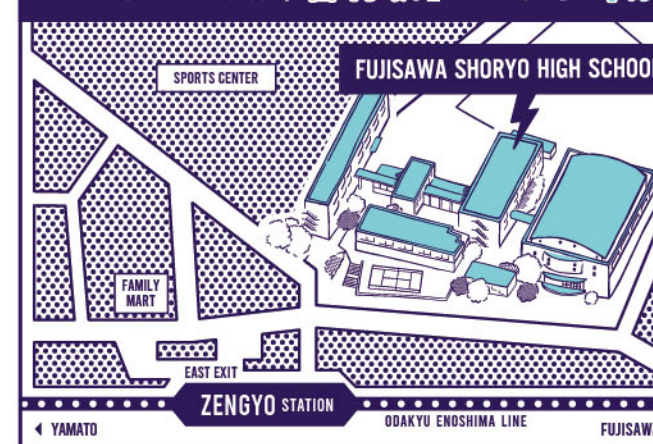
お申し込みはホームページからお願いします。

学校見学

月曜日～土曜日に受け付けております。
事前にお電話ください。

☎ 0466-81-3456・3457

小田急江ノ島線「善行駅」から徒歩1分



〒251-0871 神奈川県藤沢市善行7-1-3
Tel.0466-81-3456・3457



- 小田急線
- 京浜急行線
- 相模線
- 市営地下鉄線
- 相鉄線
- 田園都市線
- 東海道線
- 根岸線
- 横須賀線



藤沢翔陵高校公式HOME PAGE



藤沢翔陵高校部活TV!



学校紹介動画YOU TUBE



藤沢翔陵高校Instagram

藤沢翔陵高等学校